(54) THICKNESS SLIDE RESON

(11) Kokai No. 52-137290 (43) 11. 77 (21) Appl. No. 51-54066

(22) 5.12.1976

(71) DAINI SEIKOSHA K.K. (72) HIROFUMI KAWASHIMA

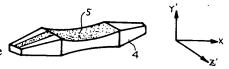
(52) JPC: 100B1

(51) Int. Cl². H03H9/14,H01L41/04

PURPOSE: To make the resonator highly stable hence accurate by improving the shape of the resonator to a concave shape thereby removing vibration (sub-

vibrations) other than main vibrations.

CONSTITUTION: The resonator is composed of a crystal 4 and an excitation electrode 5, and the crystal 4 is processed to a rectangular concave shape. When the crystal is rotated about the X axis with its electric axis being made X, new axis Y', Z formed by the mechanical axis and optical axis are obtained. This makes the electric field direction of the crystal 4 uneven, hence the component in the mechanical axis Y' direction in the crystal 4 different. It is therefore possible to suppress the reflection of elastic waves sufficiently small. Namely, subvibrations may be removed and stable thickness slide vibration is feasible. By removing the sub-vibrations which become a prime problem in frequency stability in this manner, the highly stable thickness-slide crystal resonator may be obtained and a highly accurate crystal wristwatch may be put to practical



(54) GAS LASER TUBE

(11) Kokai No. 52-137291 (43) 11.16.1977 (21) Appl. No. 51-53168

(22) 5.12.1976

(71) TOKYO SHIBAURA DENKI K.K.

(72) TAKASHI SHIMADA(3)

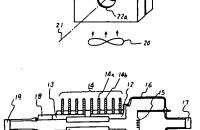
(52) JPC: 100D0

(51) Int. Cl². H01S3/045

PURPOSE: Output with good stability is obtained by reducing temperature difference effectively with a smaller air volume by air blow from one direction and

over the circumferential direction of an optical axis.

*CONSTITUTION: The discharge formed through fine discharge tubes 11 by the voltage between cathode and anode 15, 13 excites within the resonator formed by mirrors 17, 19 to emit a laser beam and at the same time the heat evolved in the fine tubes 11 is transmitted to fins 14. Blasting of cooling air is so accomplished that the air blast runs from one direction to other direction. At this time the portion 22b concealed from a fan 20 shows a temperature rise in relation to the portion 22a, opposing to the fan 20, of the hole 22 having a laser light axis 21 at its center. Because of this, if the hole 22 is provided in the direction closer to the fan 20 than at the center of the fins 14a, the portion 22b is cooled by the cooling fin parts having a larger area than the 22a side. Hence the temperature distribution may be reduced effectively with a smaller air volume and over the circumferential direction of the optical axis.



(54) END FACE EXCITATION SOLID LASER

(11) Kokai No. 52-137292 (43) 11.16.1977 (21) Appl. No. 51-53293

(22) 5.12.1976

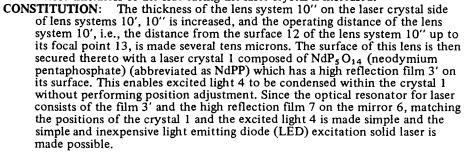
(71) HITACHI SEISAKUSHO K.K.

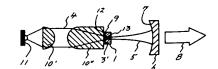
(72) KIICHI KAMIYANAGI

(52) JPC: 100D0;104G0

(51) Int. Cl². H01S3/091

PURPOSE: To condense excited light within laser crystal and obtain a simple and highly efficient laser by depositing laser crystal to the lens of a lens system whose thickness of the side facing the laser crystal is increased.





(5 (5

r

С

(5 (1 (2 (7 (5

(5 Pl

C(

_

(1) (2; (7) (5;

PÜ

(51

cc

19日本国特許庁

公開特許公報

⑪特許出願公開

昭52-137290

⑤ Int. Cl².H 03 H 9/14H 01 L 41/04

識別記号

❸日本分類 100 B 1 庁内整理番号 6824-54 43公開 昭和52年(1977)11月16日

発明の数 ³ 審査請求 未請求

(全 3 頁)

砂厚みすべり振動子

20特

顧 昭51-54066

20世

图 昭51(1976)5月12日

70発明

者 川島宏文

東京都江東区亀戸6丁目31番1

号 株式会社第二精工舍内

切出 顧 人 株式会社第二精工會

東京都江東区亀戸6丁目31番1

号

仍代 理 人 弁理士 最上務

男 掘 書

発明の名称 厚みすべり振動子

特許耐水の範囲

- (1) 様状単分すべり漫画子にかいて、前記優勝子の表面が凹面形状であることを特徴とする厚みすべり提動子。
- (2) 様状浮みすべり扱助子にかいて、前記級脚子の表面が凹道形状であり、かつ前配級加子の増配付近がペペル形成されている事を特徴とする浮みすべり遥動子。
- (3) 様状原みすべり級の子において放記級の子の表面が凹面形状であり、前記級の子は『極を『 動を中心に30°~40°回転した板より切り出され、かつる 楽とはほぼ内方向に電流を設けた事を特徴とするダみすべり扱助子。

発明の詳細な説明

本免別は厚みすべり振動子の形状に関する。本 発明の目的は厚みすべり振動子の振動器の形状を 改善することにより主接触以外の接触(以下網接動と呼ぶ)を取り除る、かつ、支持部による特性の劣化を防ぎ、超小振、高性能圧電接触子を提供するものである。

近年、圧電材料を使用した、特に水晶振動子を 締計の時間標準とした水品時計の電子化は目ざま しく、『の高稽変化が殴られてきた。一例として 埃在最も一般的に変われている音叉型水晶振動子 は過波数温度特性が二次曲線となるため広報機に 仮つて安定した岸波衣を始供することは難しい。 そのため広範囲の推縦斧板つて安定した間波数を 提供するためには外部からの補償が必要であり、 チタンボバリウムを使用したコンデンサーで報信 を行なつている。との構成方法では音叉擬水晶楽 曲子の特性とテメン畝パリウムコンデンサーの祭 性を一つ一つ対応させるため工数がかかる。との 権債方法ではかなり高稽度の水晶時計が実用化さ れているが、しかし合せ込んだ時点では高程度を 椿伎することができるテメン教パリウムコンデン ミサーの経験変化による容量変化が生じるため長期

に彼つて高糟炭の水晶旋時計を提供するととは不 可能である。しかし上記の欠点を改善するため周 被数量度等性の良い、即ち周波数量度等性が三次 歯値を持つ▲『カット水晶振動子が注目されてい る。現在ATカツト水晶振動子は高安定網波数を 必要とする通信機等にさかんに使用されている。 最近との高安定周波数を持つATカット水晶機能 子を水品放除計用として使用する飲みがまされて いる。以下図面に沿つて説明する。通常は円板形 状をした水晶振動子が主であるがこのタイプでは 大きすぎて麻酔町用としては使用できないのが水 状である。そのため円板形状を吹着した矩形状の 水県振動子が発発された。新1四は従来の円板形 を攻勢した矩形水晶振動子の靴構図である。1は 水晶、 2 は崩滅用電艦、 3 は支押線を示す。電艦 2 (裏電磁は製造に配してない)に電圧が印加さ れると矢印方向に水晶1は道を超こし、交番電圧 を加えてやれば、孤助を持続することができる。 とのタイプの水晶振動子は一般に平らに加工され ているので水晶内部の電界盤度は水晶内部では一

特別 昭52-1372902 様である。もし水巣の大きさが無限であれば弊性 技は反射されることをく更に特性の安定した規模 数を提供してくれる。しかし第1凶に示した矩形 水晶では寸炭が小さいため弾性後の反射をまねき 、崩退数の原因となつている。そのため従来の炬 形水晶振動子は周波数温度等性が振く跳時計用と しては使用できないのが現状である。本苑明は上 記の欠点、知ち浮性波の反射による影響を最小機 化押えることにより過援助を取り除き、尚安定な 周波数量炭特性を提供するものである。第2回は 本発明の展みすべり水晶級調子の軟観図を示し、 4 は水晶、 5 は助掘用電金、 2 は水晶の暖気輸、 Y'、 Z' はX 触を中心に凶転したときに様視難、 光軸のつくる新軸である。水晶4は凹峭形状に加 工されているので電界方向は一様でなく。その他 め水晶内部の機械軸方向の成分は異なる。それ故 に弾性波の反射を充分に小さく押えることができ る。即ち蒯滅歯を取り除くことができ、安定した 厚みすべり機能を可能に立らしめた。 第2回では

超面の簡単な説明

第1回は従来の矩形厚みすべり水晶振動子の板 観図、第2回は本発明の一変施例の板観図、第3 図は本発明の機の数観図、第4点は本発 男の輝かすべり振動子の水晶板の切り出し角度を示す図。

眞直が凹面形状に加工されているが本発明の他の

1,4,6, 水晶

2,5,7, 電板

出上

代理人 幸 上

